

あしりべつ川 ヤマメの稚魚放流（パワーポイント説明）

P1

事業名称「あしりべつ川 ヤマメの稚魚放流」

団体名「北野地区町内会連合会」

P2

頁タイトル「1万匹のヤマメの稚魚をあしりべつ川（厚別川）に放流します。（概要）」

（趣旨）

・札幌市清田区のシンボルであり、ふるさと遺産でもある あしりべつ川（厚別川）をふるさとの川として子どもたちに慣れ親しんでもらい、河川の自然を後世に残し、水や環境を守る大切さを学ぶことを目的として、1983年（昭和58年）からカムバック「サクラマス」を願いながら、ヤマメの稚魚放流を行っています。

（サクラマスについて）

・「サクラマス」はヤマメが海に下って回遊し産卵時に川を遡上する降海型の魚で、遡上には河川の保全状態が影響します。

写真右上：あしりべつ川（厚別川）と横断幕

写真右下：ヤマメの稚魚放流（全体）

P3

頁タイトル「1万匹のヤマメの稚魚をあしりべつ川（厚別川）に放流します。」

（計画概要）

- ・今年はずぎの日程で放流を行います。
- ・日時：令和2年（2020年）5月23日（土）午後1時から
- ・放流場所：あしりべつ川（厚別川）北野ふれあい橋下 親水公園
（札幌市清田区北野6条3丁目）
- ・放流稚魚数： 10,000匹

写真左上：バケツの入れたヤマメの稚魚

写真右下：ヤマメの稚魚放流（手元）